

た か し



<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

生き方のヒントを与え、種をまく

主幹教諭 山口 悠介

6月も終わりが近づき梅雨明けが待ち遠しい毎日ですが、子供たちは元気に学校生活を送っています。本校では、令和4年度から杉並区教育ビジョンに掲げられている「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を具現化するための一環として「生き方教育」を実施しています。この活動は、高井戸第四小学校独自の教育活動で、年間6～8回（1回45分）程度行っています。

全教員が各クラス（担任しているクラス以外）に一人ずつ入り、生き方について様々な授業を実践しています。教師は、未来の社会を創る当事者となる子供たちを育成する視点に立ち授業を行っています。また、子供たちが、自ら未来を切り拓き、心豊かで、たくましく成長していくことを目的としています。言い換えると、教師が、子供たちに「生き方のヒントを与える」・「生き方の種をまく」授業です。また、教師自身も自分で考え、自分の言葉で、思いや考えを伝える授業でもあります。

子供たちは、教師の背中を見て育ちます。大人も、子供も型にはまらない自由で、創造的な授業を実践することで数字には表せない力を付けていけると考えています。

教員は、「生」をテーマにどんな話を、どの学年にするのか毎回、楽しみに授業づくりを行っています。「生き方」、「生きがい」、「生き様」、「生活」、「生き生きと」、「生きるために」、「生き抜くために」、「楽しく生きる」、「たくましく生きる」、「ルールを守って生きる」など「生」をテーマに子供たちに様々な生き方を伝えています。

例えば、過去の授業では、

「好きな本、映画、音楽などを紹介して、そこから感じたことを伝える。」

「絵本の読み聞かせから平和について考え、クラスで平和に生きていくためにはどうするか考える。」

「自分の歩んできた人生を紹介し、学生生活の体験などから生き方を伝える。」

「好きなラーメンを紹介し、自分の好きな物を大切に生きることを伝える。」

「ロボットよりも想像力をもっている人間が、それぞれの特性を生かして生きることが大切であると伝える。」

「なぜ、教師になったのかを伝え、そこで出会った人や、教育実習での経験などを子供たちに伝える。」

「ゲームやレクから集団でいきまりを守って遊ぶことの大切さを伝える。」など様々な切り口から生き方を伝えたり、考えたりしています。

子供たちは、毎回誰が来るのか知らされていないのでドキドキしながら生き方教育を楽しみにしています。いつか、この経験が、これからの人生において、少しでも生き方を考えるきっかけになってくれれば嬉しいと思います。是非、お子さんにどんな授業を受けたのか聞いてみてください。